

第五章 岐阜県の観光交流産業への影響

本アンケート調査の位置づけ

観光に特色のある岐阜県の特徴を踏まえ、第四章の「全産業アンケート調査」とは別に、観光関連の施設等を対象に「観光アンケート調査」を実施した。観光アンケート調査独自の設問に加え、「全産業アンケート調査」と重複する設問も設定し、両者の比較も行った。

岐阜県は、飛騨高山、白川郷、下呂温泉、長良川鶉飼に代表される観光資源に恵まれた地域である。地理的には国土の中心に位置するものの、県域の大半を山岳地帯が占め、南北を貫く JR 高山線は単線非電化、高速道路網も整備途上にあり、県内に空港がない等、全国各地からの交通アクセスは必ずしも良好とはいえない。

リニア開業により、中津川市のリニア駅が岐阜県の玄関口として機能するようになると、東濃圏域や飛騨圏域への観光客の増加が予想されるだけでなく、名古屋市のリニア駅開業の影響で、岐阜、中濃、西濃圏域においても観光交流産業へのプラスの影響が期待できる。

また、中津川市近郊に建設予定の車両基地が、観光施設の役割を併せ持つ場合、従来にない人の流れを生む可能性を秘めている。

観光交流産業の多くは、観光客が実際にその地域を訪れてはじめて売上げや利益の増加に結びつく特性があるため、「人の交流」を促進するリニア開業を、観光独自の視点から捉え、一般的な業種とは異なった受け止め方をしているという仮説のもと、本アンケート調査を実施した。

1. 調査結果概要

(1) 調査方法

岐阜県内の観光交流産業 543 先（うち宿泊施設等 224 先、その他観光関連 319 先）へアンケートを郵送し、うち 237 先より回答を得た。（回収率 43.6%）回答者の地域別、属性別内訳は以下のとおりである。

(図表V-1) 観光アンケート 集計対象 237 先の地域別、属性別内訳

地域別内訳

地域	件数	比率
岐阜	38	16%
西濃	31	13%
中濃	55	23%
東濃	43	18%
高山(注)	46	19%
下呂	24	10%
合計	237	100%

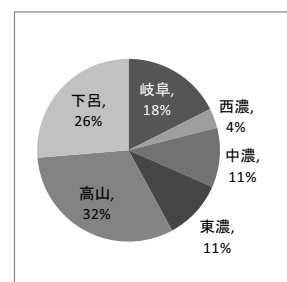
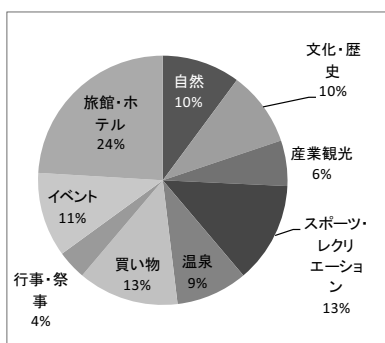
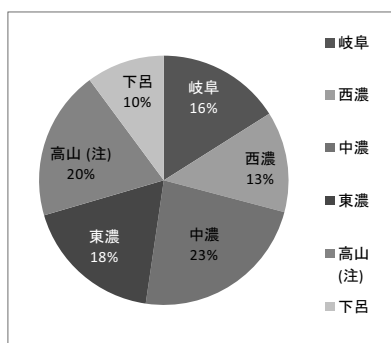
注:「高山」は、下呂地域を除く飛騨圏域を指す

属性別内訳

属性	件数	比率
自然	24	10%
文化・歴史	23	10%
産業観光	14	6%
スポーツ・レクリエーション	31	13%
温泉	22	9%
買い物	31	13%
行事・祭事	9	4%
イベント	26	11%
旅館・ホテル	57	24%
合計	237	100%

うち、「旅館・ホテル」
57先の地域別内訳

地域	件数	比率
岐阜	10	18%
西濃	2	4%
中濃	6	11%
東濃	6	11%
高山	18	32%
下呂	15	26%
合計	57	100%



調査対象:

- ① 宿泊施設・日帰り温泉施設 : 「岐阜県観光オールガイド」、「ぎふ温泉ガイド」((社)岐阜県観光連盟発行)に掲載されている施設 224 先
- ② 観光施設・資源 : 岐阜県観光入込客統計調査(平成 23 年)における観光地点のうち、年間入込客延べ人数が 3 万人以上のもの 319 先

① 地域

下呂地域と高山地域では、観光資源の特性や、交通事情等地理的特性が大きく異なることから「飛騨圏域」とひとくくりにせず、「下呂地域」と、「高山地域」(下呂地域を除く飛騨圏域)に分けて分析を行った。

② 属性

アンケート送付先の属性は以下の通り。「自然」は高原、渓谷、湖等、自然関連の施設・管理団体等、「文化・歴史」は寺社仏閣、歴史・民族資料館等、「産業観光」は地場産業などを紹介する資料館等、「行事・祭事」は祭りを主催する団体等。

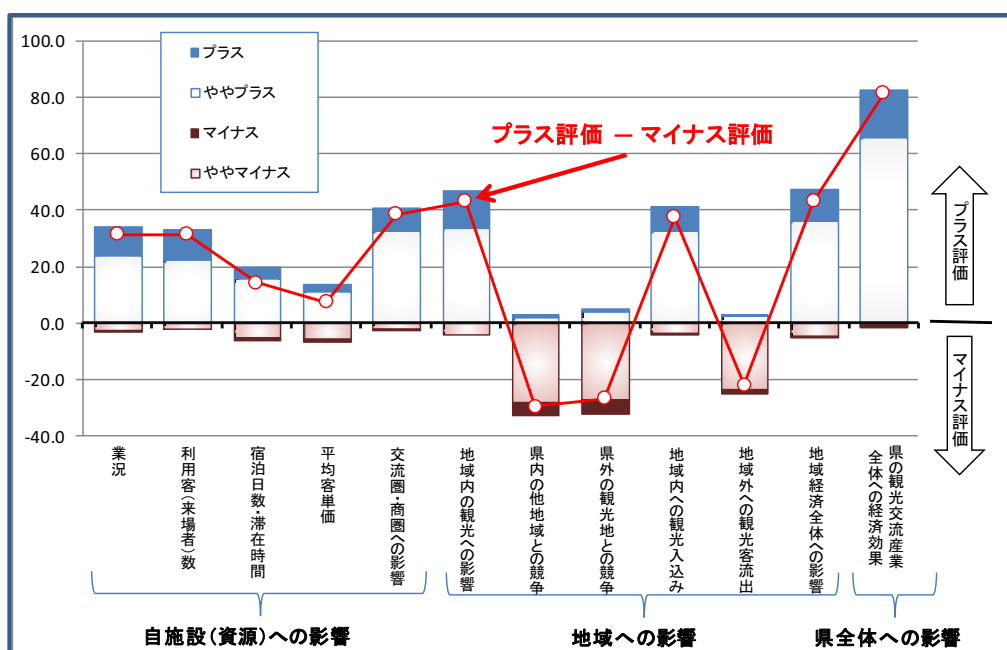
なお、「旅館・ホテル」の回答 57 先のうち、18 先が高山地域、15 先が下呂地域からの回答である。

(2) リニア開業による「プラス」の影響

岐阜県内の観光交流産業全体への影響については、回答者の8割以上が「プラス」もしくは「ややプラス」と回答しており、「岐阜県全体」でみた場合、リニア開業に対する期待が非常に大きいことがうかがえる。

「自施設（資源）」や「地域」への影響についても、全般にプラス回答がマイナス回答を上回っており、リニア開業は好意的に受け止められている。

(図表 V-2) 岐阜県内の観光交流産業における影響



一方、各地域への影響についてみると、「自施設（資源）への影響」、「地域への影響」のほとんどの項目で、リニア中津川駅に近い東濃圏域、下呂地域や、リニア名古屋駅から JR で 20 分圏内の岐阜圏域でプラスの影響があると回答した割合が高く、リニア駅から距離がある西濃圏域では低いという結果となり、交通アクセスの改善による観光客数の増加期待の度合いにより、温度差がみられた。

(図表 V-3) 圏域別の影響

・プラス評価(プラス+ややプラス)ーマイナス評価(マイナス+ややマイナス)							(ポイント)					
	自施設(資源)への影響					地域への影響					県全体への影響 県の観光 交流産業 全体	
	業況	利用者(未 場者)数	宿泊日数・ 滞在時間	平均 客単価	交流圏 ・商圈	地域内 観光	県内の他 地域との 競争	県外の観 光地との 競争	地域内へ の観光入 込み	地域外へ の観光客 流出		地域経済 全体
岐阜県	31.5	31.3	14.2	7.5	38.4	43.1	▲ 29.7	▲ 26.7	37.5	▲ 22.0	43.0	81.5
岐阜	28.9	21.1	0.0	0.0	32.4	44.7	▲ 23.7	▲ 28.9	31.6	▲ 21.1	52.6	73.0
西濃	10.3	13.8	0.0	0.0	20.7	20.0	▲ 20.0	▲ 16.7	6.7	▲ 13.3	26.7	78.6
中濃	16.7	13.0	5.7	1.9	24.1	38.9	▲ 29.6	▲ 24.1	25.9	▲ 20.4	35.8	92.3
東濃	51.2	46.5	28.6	26.8	57.1	61.9	▲ 38.1	▲ 28.6	64.3	▲ 28.6	61.0	85.4
高山	20.5	33.3	11.1	0.0	34.1	26.7	▲ 35.6	▲ 33.3	33.3	▲ 15.6	24.4	65.9
下呂	79.2	79.2	57.1	21.7	78.3	78.3	▲ 26.1	▲ 26.1	73.9	▲ 39.1	69.6	95.7

(3) 結びつきを深めたい地域

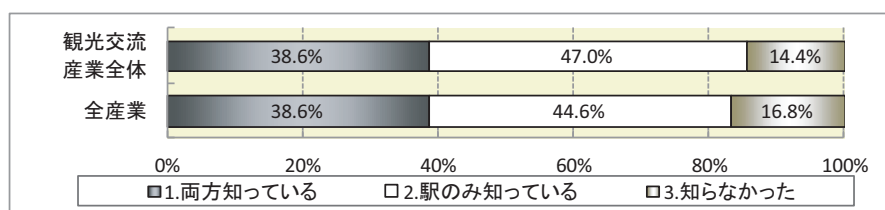
全産業調査の結果に比べ、「首都圏」との結びつきを深めたいと回答した割合が高いことから、首都圏からの観光客の増加に対する期待が大きいことがうかがえる。

(4) 中津川市のリニア駅と車両基地の認知度

認知度については、全産業調査の結果との間に大きな差は見られず、観光交流産業全体の 85.6%が中津川市のリニア駅建設を知っていたが、車両基地に関しては全体の 61.4%が知らないという結果となった。

(図表 V-4) 中津川市のリニア駅と車両基地の認知度

中津川市にリニア駅と車両基地ができることをご存じでしたか。

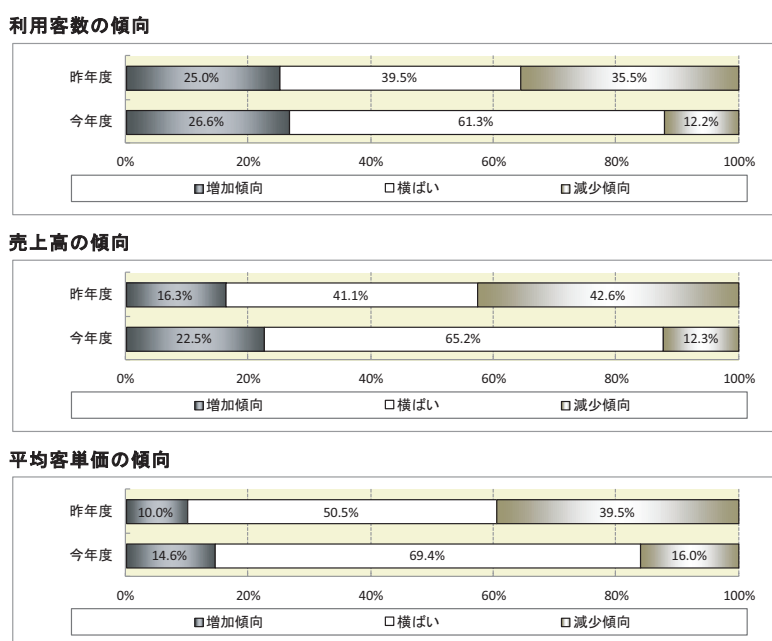


近年、鉄道関連の博物館や鉄道をモチーフとしたテーマパーク、展示施設などが高い人気を集めている。仮に車両基地が、走行中のリニアやその保守の様子等を見学できるような「体験型の産業観光施設」としての機能を併せ持つと、東濃圏域観光の目玉となることも考えられる。車両基地の誘致自体、産業振興や雇用創出といった点で地元へ大きなメリットをもたらすものであるが、それにとどまらず、魅力ある観光資源としての機能も有する施設となることを期待したい。

(5) 岐阜県内の観光交流産業の現況

岐阜県内の観光交流産業の経営環境は改善傾向にある。昨年度（実績）と今年度（見込み）の「利用客数」、「売上高」、「平均客単価」を比較すると、いずれも「減少傾向」の割合が大きく低下しており、地域差はあるものの、今年度は「増加傾向」が「減少傾向」を上回る地域が多い。景況感の回復による消費者心理の好転や、円安による海外からの観光客の増加などによる影響と考えられる。

(図表V-5) 岐阜県内の観光交流産業の現況



2. リニア開業による地域への影響

(1) 岐阜県内の観光交流産業全体への経済効果

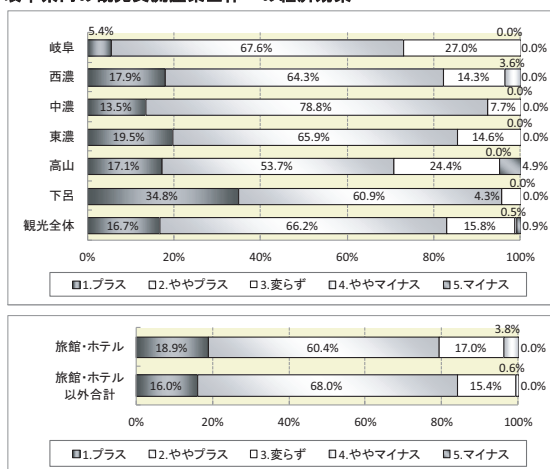
全体の82.9%が「プラス」か「ややプラス」と回答しており、岐阜県全体でみた場合、観光交流産業のリニア開業に対する期待は非常に大きい。

(2) 地域内観光への影響

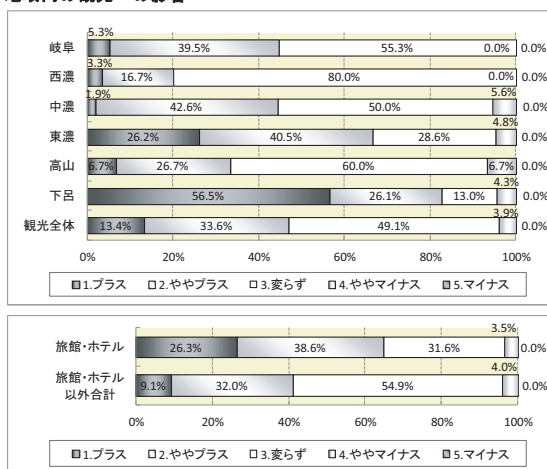
岐阜県全体ではなく、「各地域」への影響を見ると、地域により温度差がみられた。結果は、後述する「業況への影響」と同様な傾向を示しており、下呂地域（「プラス」+「ややプラス」が82.6%）、東濃圏域（同66.7%）でプラス回答の割合が高かった。

(図表V-6) リニア開業による観光への影響

岐阜県内の観光交流産業全体への経済効果



地域内の観光への影響



下呂地域を訪れる観光客の多くは、国道41号線かJR高山線を利用している。リニア開業により、首都圏からの観光客が、中津川市のリニア駅から国道257号線を利用して下呂へ直行できるルートが開けることが、同地域においてプラス評価が高い理由と考えられる。

一方、西濃圏域、高山地域では、プラス回答の割合が他地域に比べて低い。これは、中津川市のリニア駅からも、名古屋市のリニア駅からも相応な距離があるため、観光客増といったプラスの影響が、他地域ほど期待できないからであろう。

属性別にみると、「旅館・ホテル」は、「旅館・ホテル以外の観光業」に比べ、プラス回答の割合が高かった。リニア開業により、宿泊を伴う遠方からの観光客の増加に対する期待の高さを反映したものと考えられる。

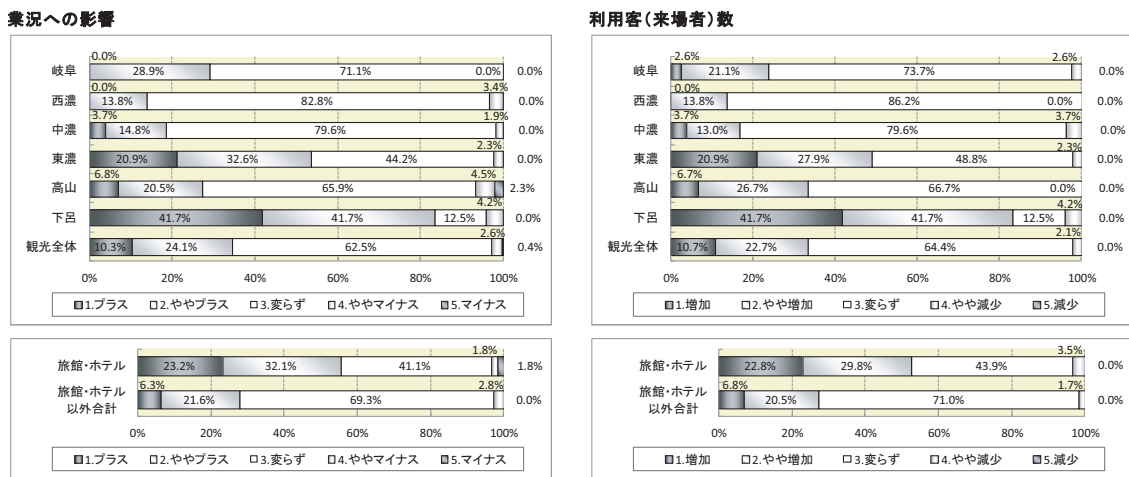
また、岐阜、西濃圏域以外では、「ややマイナス」や「マイナス」の回答も相応に存在しており、他地域との競争の激化などにより、自らが属する地域においては、むしろマイナスになり得ると考えている施設等も、少なからず存在することがわかる。

3. 観光交流産業（各施設・イベント）への影響

観光交流産業 237 先の、各施設・イベントに対する、リニア開業による影響を分析した。地域別にみると、ほとんどの項目において、下呂地域、東濃圏域、高山地域の順でプラス評価の割合が高いという結果となった。また属性別にみると、「旅館・ホテル」は、「旅館・ホテル以外の観光業」に比べ、プラス評価の割合が高い傾向がみられた。

(1) 業況、利用客（来場者）数への影響

(図表 V-7) リニア開業による業況、利用客数への影響



下呂地域、東濃圏域でプラス評価が大きく、一方、西濃圏域、中濃圏域でのプラス評価は2割以下にとどまるなど、大きな地域差が生じた。

県内の主要観光地である高山地域と下呂地域を比較すると、高山地域のプラス評価は下呂地域の半分以下にとどまっており、リニア駅からの時間距離の差が、業況や利用客(来場者)数に影響したものと考えられる。

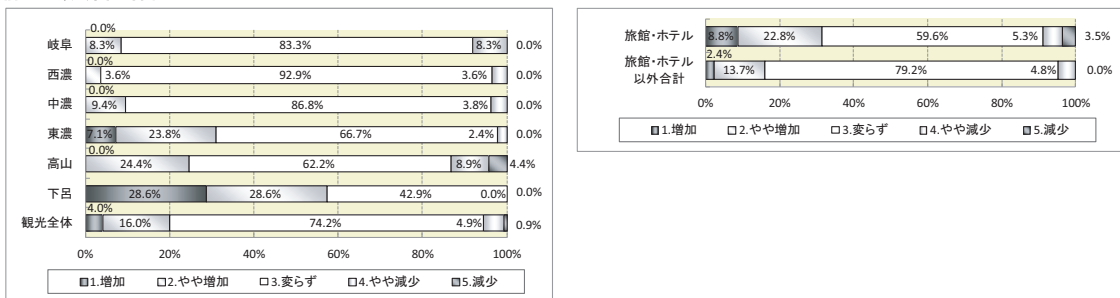
属性別にみると、「旅館・ホテル」の半数以上がプラス回答であり、業況改善、利用客数増加に対する期待が大きい。

(2) 宿泊日数・滞在時間への影響

「業況」や「利用客数(来場者)数」に比べると、全般にプラス回答の割合が低いという結果となった。

(図表 V-8) リニア開業による宿泊日数・滞在時間への影響

宿泊日数・滞在時間



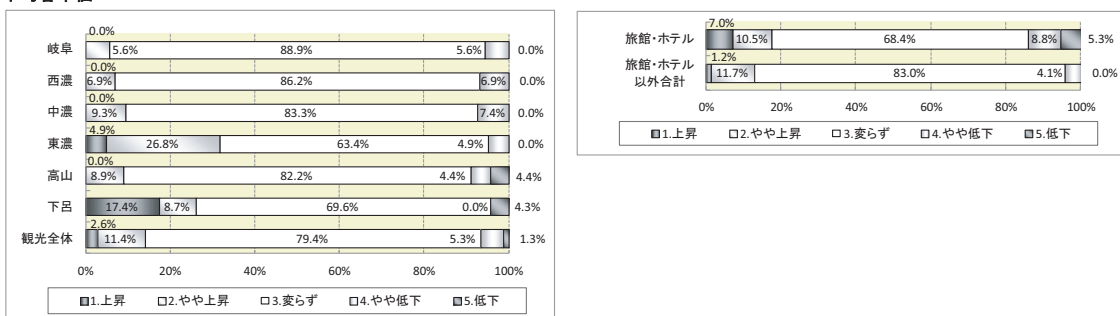
下呂地域では、「増加」+「やや増加」の割合は57.2%、一方、「やや減少」、「減少」の回答はゼロであった。下呂地域の観光は、温泉での宿泊自体が最大の目的となるため、リニア開業により移動時間が短縮される分、現地での滞在時間の増加が期待されるからであろう。

高山地域では、「やや減少」と「減少」の合計が13.3%と、他地域に比べて高い。宿泊主体の下呂とは異なり、日帰り観光も可能な高山地域では、リニア開業による移動時間の短縮が、宿泊客の「日帰り客化」や、浮いた時間で近隣地域へも足を延ばす観光客の増加を招き、かえって各施設・イベントでの滞在時間が減少することに対する懸念があるものと考えられる。

(3) 平均客単価への影響

(図表 V-9) リニア開業による平均客単価への影響

平均客単価



平均客単価は、下呂地域、東濃圏域で上昇期待がやや大きいものの、全般には「変わらず」が79.4%と、多くの施設では平均客単価に大きな変化はないとみている。

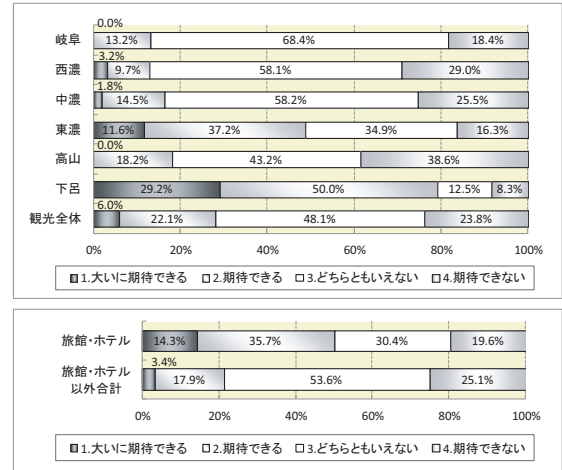
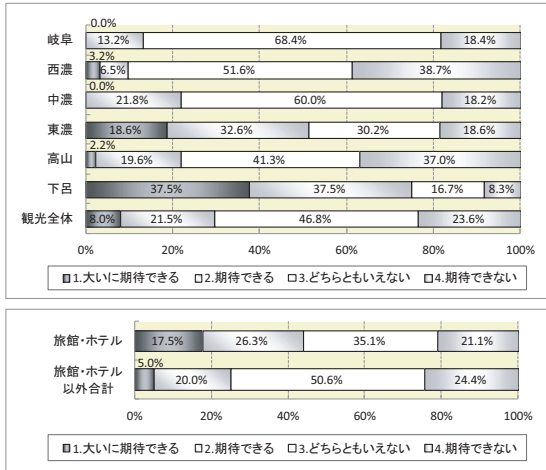
属性別にみると、「旅館・ホテル」で、「上昇」+「やや上昇」と「低下」+「やや低下」が拮抗しており、リニア効果で宿泊客数が増えても、競争の激化などにより、平均客単価がかえって低下することも懸念されている。

(4) 「中津川市のリニア駅開業」と「車両基地の観光施設化」に対する期待

(図表 V-10) 中津川市のリニア駅開業と車両基地の観光施設化に対する期待

中津川市にリニア駅が開業することは、貴施設(貴資源)にとってプラスになると期待できますか。

車両基地が産業観光施設の役割を持つことは、貴施設(貴資源)にとってプラスになると期待できますか。



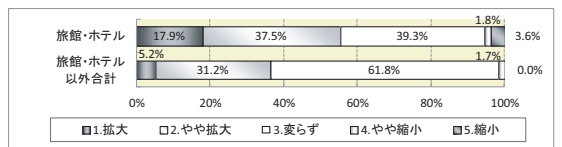
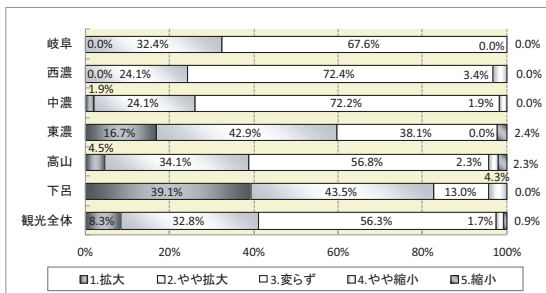
中津川市のリニア駅、車両基地のいずれにおいても、下呂地域では8割近くが、「大いに期待できる」または「期待できる」と回答したが、東濃圏域では約5割が「大いに期待できる」または「期待できる」と回答したが、高山地域、西濃圏域では「期待できない」と回答した割合が約3割~4割を占めるなど、地域によって傾向が異なる。高山地域、西濃圏域は、中津川市のリニア駅や車両基地から離れており、そのメリットを享受しにくいと考えられるためであろう。

4. リニア開業による地域間競争と観光客の流れの変化

(1) リニア開業による交流圏・商圈への影響

(図表 V-11) リニア開業による交流圏・商圈への影響

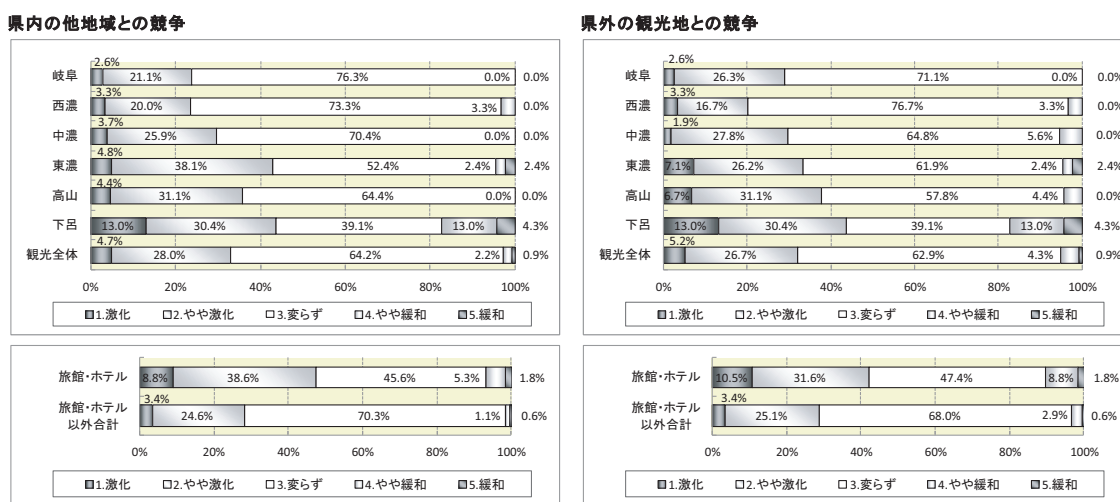
交流圏・商圈への影響



交流圏・商圈について、下呂地域、東濃圏域で「拡大」、「やや拡大」の割合が高く、3.(1)の「業況、利用客(来場者)数への影響」と同様な傾向を示した。観光客数の増加が売上げに直結する観光交流産業にとって、交流圏・商圈の拡大は業況の改善に大きく貢献するものと考えられる。

(2) リニア開業による県内の他地域、県外の観光地との競争

(図表V-12) リニア開業による県内の他地域、県外の観光地との競争



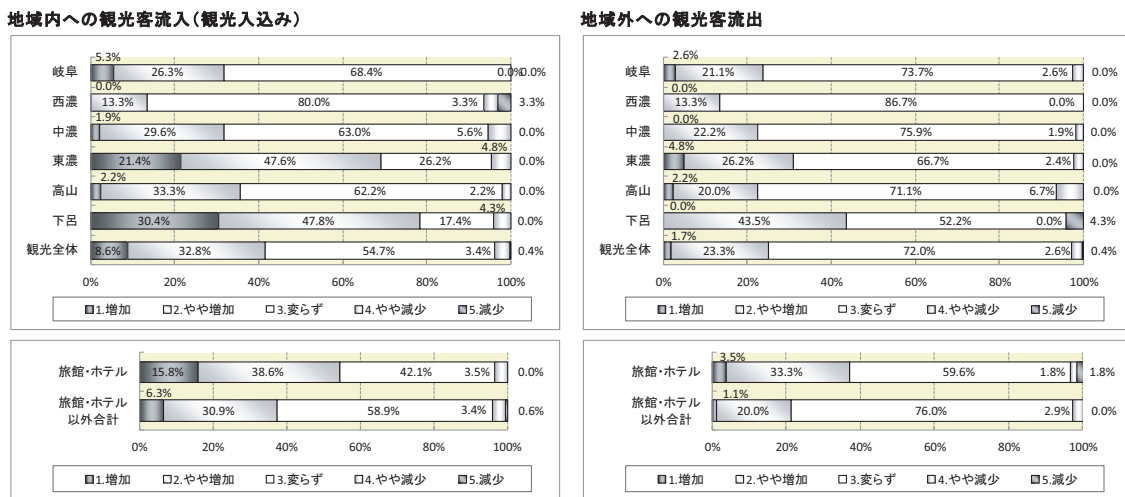
県内の他地域との競争について、岐阜県全体では「変らず」の回答が過半を占めているが、下呂地域、東濃圏域では4割以上が「激化」または「やや激化」と回答した。

また、下呂地域においては、「緩和」+「やや緩和」が17.3%と、他地域に比べその割合が高い。下呂地域は、83.4%が「利用客数は増加」、26.1%が「客単価は上昇」と回答しており、県内他地域との客の奪い合いが少なくなるという連想から、競争が「緩和」されると考える施設もあることがうかがえる。現在、高速道路網に直結していない下呂地域では、リニアによる交通アクセスの改善が集客力を高め、観光地としての競争力が高まることが期待されているからであろう。

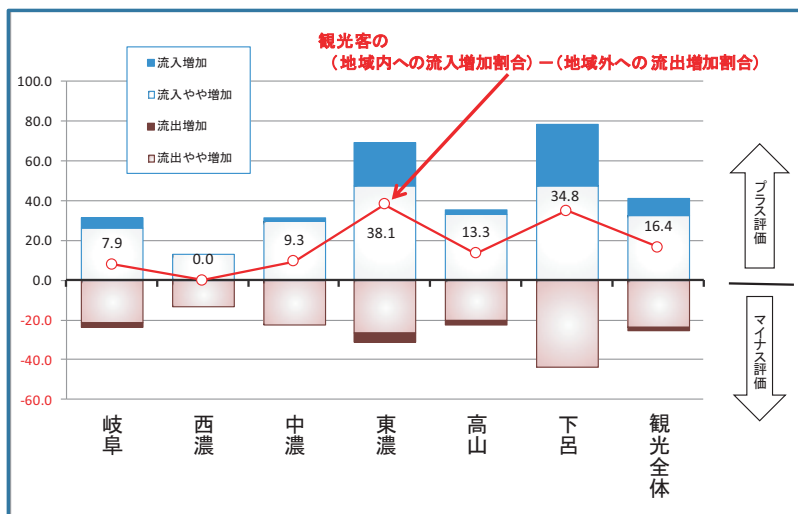
県外の観光地との競争は、県内の他地域との競争と同様な結果であった。

(3) リニア開業による観光客の「地域内への流入」と「地域外への流出」

(図表 V-13) リニア開業による観光客の流れの変化予想



(図表 V-14) 観光客の「流入増加割合」と「流出増加割合」の差



下呂地域、東濃圏域では、観光客の「地域内への流入（観光入込み）の増加」が「地域外への流出の増加」を大きく上回り、リニア開業による観光客の純増が期待されている。

岐阜、中濃圏域、高山地域では、流入と流出の回答傾向が似通っており、一定数の観光客が流入する一方で、流出はそれをやや下回る程度にとどまるものとみられている。

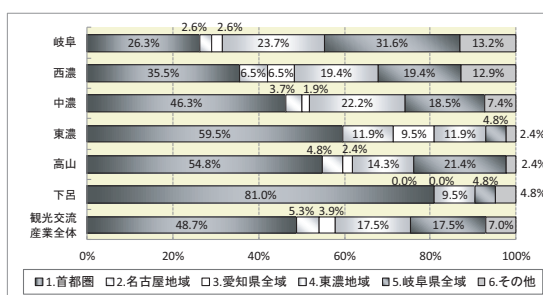
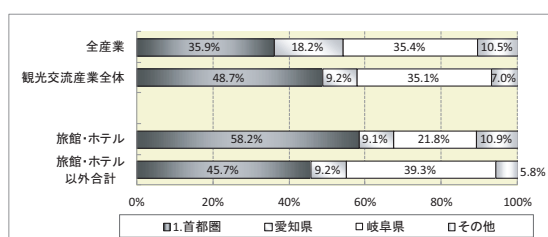
西濃圏域では、流入、流出ともに8割以上が「変らず」と回答しており、リニア開業による影響は少ないと考えられている。

5. 結びつきを深めたい地域

観光交流産業全体では、首都圏と結びつきを深めたいと回答した割合が48.7%と、全産業調査の35.9%を大きく上回っており、リニアにより、首都圏の観光客を誘致したい施設・イベントが多いという観光交流産業の特徴がうかがえる。

(図表V-15) 中津川市のリニア駅開業にあたり結びつきを深めたい地域

中津川市のリニア駅開業にあたり、観光交流の結びつきを特に深めたい地域はどこですか。(単一回答)



特に下呂地域は首都圏を選んだ割合が81.0%、東濃圏域、高山地域でも5割超と、首都圏からの集客への期待が高い。下呂地域や東濃圏域では、首都圏からの交通アクセスが大幅に改善されること、高山地域も、中津川市のリニア駅からレンタカーや観光バスなどの利用が期待できること等が、その背景にあると考えられる。

岐阜、中濃、西濃圏域では、東濃圏域との結びつきを深めたいという意向も強く、中津川市のリニア駅で下車した観光客を自らの施設が立地する圏域に誘致したいという意識の表れと考えられる。また、東濃圏域において、名古屋地域、愛知県全域との結びつきを深めたい施設が多い(計21.4%)のは、車両基地の産業観光施設化を意識し、リニア乗車(試乗)+車両基地見学を、地域観光振興に結び付けたいという意識も働いているものと思われる。

属性別にみると、「旅館・ホテル」で首都圏を選んだ割合が58.2%と高いが、これは、岐阜県、愛知県からの観光客は、日帰り客も多いという事情を反映していると思われる。

6. 中津川市のリニア駅開業に対する期待

中津川市のリニア駅開業にあたり期待することを地域別に集計したところ、以下のような傾向がみられた（複数回答可）。

- ① 岐阜、西濃、中濃圏域で、「駅を拠点とした観光地・名所へのアクセスの発展」に対する期待が最も高い。中津川市のリニア駅から、各圏域の観光地・名所への観光客の誘致を意識しているものと思われる。
- ② 東濃圏域で、「地域観光の振興」に対する期待が最も高い。リニア駅が設置される地元であるため、交通アクセスよりも、地域の観光地としての魅力を高めたいという意識が強いものと思われる。
- ③ 高山、下呂地域では、「駅へアクセスする道路の整備」に対する期待が最も高い。中津川市のリニア駅から下呂、高山地域を結ぶ道路を整備することで時間距離の短縮をはかり、観光客の誘致に弾みをつけたいという期待があるものと思われる。

観光交流産業全体でみると、「駅を拠点とした観光地・名所へのアクセスの発展」が1位、「駅へアクセスする道路の整備」が2位と、交通アクセスの改善への期待が高く、「地域観光の振興」がこれに続いた。

（図表V-16）中津川市のリニア駅開業にあたり期待すること

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位
観光交流産業	岐阜	駅を拠点とした観光地・名所へのアクセスの発展	駅への公共交通機関の整備	地域観光の振興	駅へアクセスする道路の整備	地域産業の活性化（同率4位）	その他	駅における駐車場の整備
	西濃	駅を拠点とした観光地・名所へのアクセスの発展	地域観光の振興	駅へアクセスする道路の整備	駅への公共交通機関の整備	地域産業の活性化	その他（同率5位）	街づくりへの参画
	中濃	駅を拠点とした観光地・名所へのアクセスの発展	駅へアクセスする道路の整備	駅への公共交通機関の整備	地域観光の振興	地域産業の活性化	駅における駐車場の整備	駅を拠点とした買物やレジャー施設の発展
	東濃	地域観光の振興	駅を拠点とした観光地・名所へのアクセスの発展	駅へアクセスする道路の整備	地域産業の活性化	駅への公共交通機関の整備	駅における駐車場の整備	街づくりへの参画
	高山	駅へアクセスする道路の整備	駅を拠点とした観光地・名所へのアクセスの発展	地域観光の振興	駅における駐車場の整備	駅への公共交通機関の整備（同率4位）	地域産業の活性化	その他
	下呂	駅へアクセスする道路の整備	駅への公共交通機関の整備	駅を拠点とした観光地・名所へのアクセスの発展	地域観光の振興	地域産業の活性化	駅を拠点とした買物やレジャー施設の発展（同率5位）	駅における駐車場の整備
観光交流産業全体	駅を拠点とした観光地・名所へのアクセスの発展	駅へアクセスする道路の整備	地域観光の振興	駅への公共交通機関の整備	地域産業の活性化	駅における駐車場の整備	その他	
全産業	駅へアクセスする道路の整備	地域産業の活性化	駅を拠点とした観光地・名所へのアクセスの発展	駅への公共交通機関の整備	地域観光の振興	駅における駐車場の整備	駅を拠点とした買物やレジャー施設の発展	

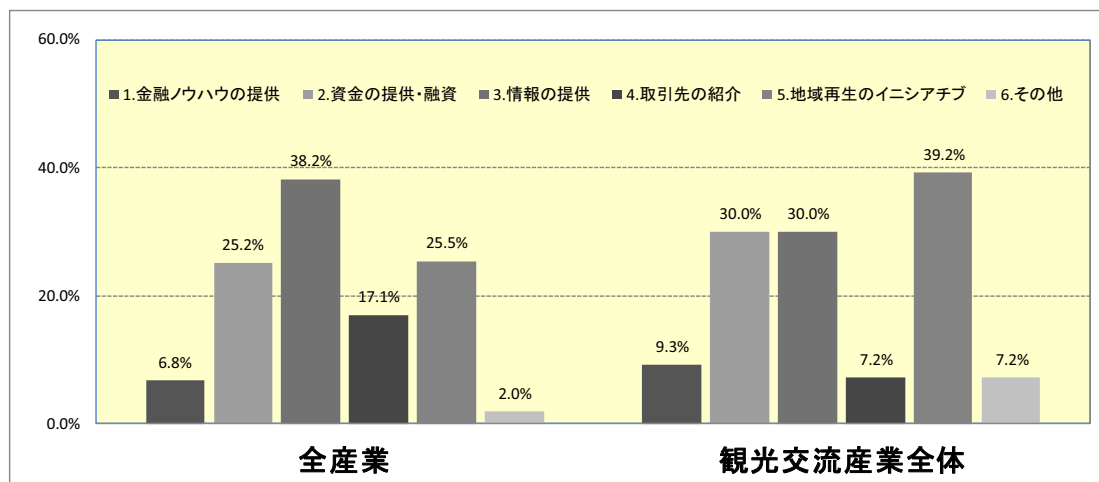
7. 金融機関に対する期待

リニアの建設および開業にあたり、金融機関に対して期待することを尋ねたところ、地域による差は小さかった（複数回答可）。

全産業調査の結果と比較すると、上位3位に挙げられた項目は同じであるものの、全産業では「情報の提供」が、一方、観光交流産業では「地域再生のイニシアチブ」が首位となり相違が生じた。観光交流産業においては、観光地としての魅力向上のための地域再開発、地域再生のアドバイス、イニシアチブ発揮に対するニーズが、相対的に高いことがうかがえる。

（図表V-17）リニア建設および開業にあたり、金融機関に期待すること

リニア建設及び開業にあたり、金融機関に期待すること（複数回答可）



8. まとめ

第四章の「全産業調査」との比較では、以下のような特徴がみられた。

- ① 中津川市のリニア駅や車両基地の認知度については、大きな差はなかった。
- ② 中津川市のリニア駅や車両基地への期待度については、観光交流産業の期待度がやや高かった。
- ③ 結びつきを深めたい地域としては、全産業に比べると「首都圏」を選んだ割合が高く、東京を中心とした関東圏からの観光客の誘致に対する期待が大きい。
- ④ 中津川市のリニア駅開業にあたり期待することとしては、全産業では「駅

へアクセスする道路の整備」と「地域産業の活性化」に対する期待が大きかったが、観光交流産業では、「駅を拠点とした観光地・名所へのアクセスの発展」が1位、「駅へアクセスする道路の整備」が2位となっており、交通アクセスの改善に対するニーズが高い。

- ⑤ 金融機関に対する期待では、全産業では「情報の提供」が1位であったのに対し、観光交流産業では「地域再生のイニシアチブ」が1位となっており、観光地としての魅力向上のための地域再開発、地域再生のアドバイス、イニシアチブ発揮に対するニーズが高い。

